

投稿

臨検小話=その2=

新屋 博明 <エムティー法務研究会>

1. はじめに

ライト Wright 染色やギムザ Giemsa 染色など染色法にまつわる小話を紹介したいと思います。

2. 共通点はマalaria malaria

マalariaの研究をしていたロシアのロマノウスキー^注 Romanowsky (1861-1921) は「ある日、古くなったメチレンブルー-methylene blueにエオジンeosinを混ぜ、その混合液でマalaria患者の血液を染めてみたところ、指環状のマalaria原虫が赤紫色に染め出されていることに気づいた」¹⁾ そうです。

私は、ロシアの学者が「熱帯地方の原虫による感染症」²⁾であるマalariaの研究をしていたことが気になっていたもので、その後、アメリカのライト(1869-1928)も「マalaria原虫の研究をしていて、その過程でライト液を考案した」³⁾ ということを知るに及んで、この分で行けば、ギムザ染色もマalaria研究から生まれた染色法かもしれない?と思いました。そこで調べてみると、ドイツのギムザ(1867-1948)もマalariaの研究をしていたことがわかりました⁴⁾。「血液形態学はギムザ染色が行われるようになってから画期的な進歩を遂げた」⁵⁾とされていますが、ロマノウスキー染色やライト染色、ギムザ染色は、もともとはマalaria原虫の染色が目的だったことを知り、感慨を覚えました。

3. おわりに

染色法が考案される前は、「病理学者のウィルヒョーVirchowでさえ生の血液標本を観察していた」⁶⁾ そうです。生標本を観察していた時代から染色標本を観察する時代への移行が血液形態学に大きな進歩をもたらしたことは、論ずるまでもありません。私は技師の一人として、染色法の開発に取り組んだ歴代の研究者たちに敬意を表したいと思います。

注) Romanowsky のカタカナ表記としては、“ロマノフスキー”も用いられていますが、本投稿では“ロマノウスキー”を用いました。

■引用

- 1) 松本昇：血液塗抹標本，検査と技術 Vol.12 No.5, 409-410, 医学書院，1984
- 2) 古沢新平，磯部淳一：マalaria malaria, 臨床血液学, 68, 医学書院，1990
- 3) 藤田恒夫・牛木辰男：細胞紳士録, 132-133, 岩波書店，2004
- 4) フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』
- 5) 橋本仙一郎：普通染色法，検査医学, 37, 金芳堂，1987
- 6) 松本昇：血液塗抹標本，検査と技術 Vol.12 No.5, 409, 医学書院，1984

臨床検査技師として働く女性や、お母さんを応援する

「あなたの街の子育て支援」情報ネットワークがスタートしました

この情報ネットワークは、臨床検査技師として働く女性や、お母さんを応援するために、全国 1,800 市区町村の各種助成制度や保育所・病児・病後児保育所等を、あなたのお住まいの地域別に、容易に調べられるように工夫された、日本最大級のリンク集です。(日臨技のHP・会員のための福利厚生制度「JAMT 共済ネット」をご覧ください)

下記の項目についての情報が検索できます

*施設(保育所・幼稚園)

認可保育所
認可外保育所
病児・病後児保育所
認証保育所(東京都のみ)
幼稚園
認定こども園

*助成制度

児童手当制度
児童扶養手当制度
特別児童扶養手当制度
妊産婦検診助成制度
妊産婦医療助成制度
出産育児一時金助成制度・乳幼児小児医療費助成制度

JAMT...

<http://www.jamt.or.jp/>

JAMT 共済ネット

<http://www.e-kensa.org/>

ご意見・ご要望はこちらまで...

〒343-8790 埼玉県越谷市千間台西 2-3-6

JAMT 共済ネット事務代行会社 (株)メディックプランニングオフィス

TEL: 0120-610020 e-mail: jamtnet@e-kensa.org

日臨技会員のための

JAMT 共済ネット

福利厚生制度